

夏の風物詩の一つに「怪談」があります。怪談は、怖さや怪しさを感じさせる物語の総称で、日本古来のものを限定して呼ぶ場合もあるようです。その中でも、四谷怪談・皿屋敷・牡丹燈籠の三話は「日本三大怪談」とされているようです。では、なぜ怪談が「夏の風物詩」となったのでしょうか？

日本では昔からお盆になると、先祖の霊を家に迎えて供養するのが習慣ですが、霊の中にはこの世に恨みを抱いた怨霊や無縁仏もおり、成仏できず幽霊になって現れると考えられてきました。

今と違って娯楽の少ない昔は、芝居が貴重な娯楽で大人気でした。そしてお盆の時期に行われる芝居は「盆芝居」「盆狂言」などと呼ばれ、鎮魂の意を込め、浮かばれぬ霊の無念や苦しみを語るようになり、夏の歌舞伎の演目としても定着していったのが怪談のルーツのようです。

今では他の季節にもさまざまな形で上演、放送、配信されているようですが、猛暑のこの時季だからこそ、「夏の夜」の納涼に、怪談を楽しむのもいいかもしれません。さて、今週は連日、猛暑日でした。来週も全員、元気に、この暑さを乗り切っていきたいと思います。



外出の機会が増えたこと頃、えんてくグループです。買い物したり公園に行ったりと行動が広がっています。28日はえんてく外出余日段をした。みゆさん楽しんでくださいました。涼しい森の中、気持ちいいですね！

おもいやり
今週も暑い日が続きますね！
ファーマーズ新村の農家さんからおいしいスヤを頂き、給食に2杯ほど食べました！
夏を感じながら、おいしい涼しい作りかけね♡ 今度も頑張りましょう！

今週のいふき
温室の扇風機が2台増えました！
少しでも温室作業が涼しくなるかと思いきや、本当に暑い日は、西口など涼い所を工場で作業をしています。

つくりやグループ @HINAKO
暑いんっ〜!! と毎日、ついつい口に出しても作業元気が張っています!!
今年も来園から加エトマトの4本葉が女台まります。熱中症に気を付けていきます。

